

2024 年度 ニューカッスル（AU）大学短期研修プログラム・報告書

11月27日（水）～28日（木）の2日間、オーストラリアのニューカッスル大学より12名の学生と2名の教員が学術交流と世界災害看護学会への参加のために来日され、本学看護学部（CNAS）学生・大学院生との学術交流プログラムに参加しました。

1. プログラムの内容

- ① 11/27（水） 午前 姫路城観
午後 講義及び医療施設見学 @兵庫県立はりま姫路総合医療センター
- ② 11/28（木） 学生交流及び看護学・助産学分野の発表、Global Seminar
@兵庫県立大学明石看護キャンパス

2. 学術交流プログラムの内容

第1部 看護学

GLEP専攻4年生2名とニューカッスル大学学生が日豪の看護について発表



第2部 助産学

両大学の教員とニューカッスル大学助産学生が日豪の助産学について発表



ランチタイムのMonthly Global Seminarにて
豪州助産師教育について講演するDr.Mollart



日本の助産師・教育体制についての歴史も
踏まえて解説する岡邑講師



3. まとめ

1日目は兵庫県立はりま姫路総合医療センター救急科の水田医師より災害医療に関する講義の後、施設見学を行いました。また2日目は小学校の災害対策についても見学を行っています。施設見学ではCNAS学生も通訳も兼ねて参加し、日豪の災害医療・看護・防災に関する理解を深めました。本プログラムの翌日から神戸市内で開催された世界災害看護学会では、ニューカッスル大学とCNAS学生が学会発表を行っています。今回で3回目となるニューカッスル大学からの訪問ですが、連続して参加しているCNAS学生も多く、卒業後も日豪看護の架け橋となる事が期待されています。

看護学部 国際交流推進担当